



縦約4メートル

横約6.5メートル

幼・小・中の子どもたちが共同で作った作品
世界でたった一つ。そして、町の宝（子ども）が作りあげた作品です。

10月31日、国見町で初となる幼小中一貫教育の事業「きらきら笑顔！はばたけ翼！明るい未来へ！」（テーマは小学生作）が行われ、子どもたちは、協力して巨大アートを完成させました。

この事業は、町が平成24年度に小学校、25年度に幼稚園をそれぞれ一つに統合。幼稚園、小学校、中学校をそれぞれ1校としたことで、幼小中で連携した一貫教育が可能となったことから実施されました。

統合後、一同が会し交流を行うのは初めてで、それぞれの子どもたちが持っている郷土愛などを豊かに育もうと企画されました。

午前中は、幼稚園では歌のお姉さんによるコンサート、小学校では絵本作家のあべ弘士さん、中学校では絵本作家の長谷川義史さん

の講演が行われました。

午後は、国見小学校に幼稚園年長児、小学生、中学生総勢774人が集まり、県北中学校美術部がデザインした原画を、縦約4メートル、横約6.5メートルのちぎりに分けて、30班に分れて、制作しました。作業中は自然に、上の子が下の子の面倒をみるようになっていました。

幼稚園児がトイレに行く時は、小学生が連れて行く、小学生がうまく貼れなければ、中学生がそと手を差しのべる。上手にできれば、それぞれが声を掛け合ったり、見て、聞いて、ほのぼのとした温かい気持ちになりました。完成後巨大なちぎり絵は、子どもたちにお披露目され、体育館は歓声に包まれていました。また、学校ごとにダンスや合唱を発表しました。



幼小中一貫教育の町

共に歩むべき明日のために

『国見のたからもの』 No.7



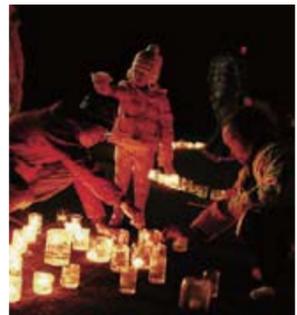
阿津賀志山防塁国道4号北側地区に残る堀と土塁
(所在地：国見町大字石母田字国見山下地内)

文治5年(1189)に源頼朝と奥州藤原氏が対峙した古戦場跡。奥州藤原氏により築かれた「阿津賀志山防塁(二重堀)」は、堀と土塁が全長3.2kmにわたってのびる要塞施設です。約800年前の合戦と800年間人々により守られてきた歴史を今に伝え、国見町の歴史性の根源とも言える場所です。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

32 30 28 27 26 24 22 20 12 11 10 6 4 3 2 目次

～今月の表紙～



11月23日キャンドルパーティーでのコマ。親子三代で来場いただき、キャンドルを点灯くださいました。でも、風がありがたか火がつきません。また、それも3人にとっては、思い出になるんでしょうね。

幼小中一貫授業
「きらきら笑顔！はばたけ翼！明るい未来へ！」
平成26年度国見町表彰式
11月のイベント
秋の叙勲
あんぼ柿の復興に向けて
町からのお知らせ
復興のあしおと
保健だより
くらしの情報
笑顔のひろば(ママまつり)
まちのサークル紹介(習友会)
小さな天才たち(県北中学校3年)
まちのわだい
生涯学習つうしん
カレンダー